

大学生協で申込みできる「大学生に人気」の検定試験一覧

(お申込方法)
 ●最寄りの生協店舗に申込書(願書)があります。
 下記申込受付期間にお申込み下さい。
 ※一部の店舗で取り扱いのない検定試験もあります。ご了承下さい。

2015年度春・夏版

試験日程・受験料など詳細が決まり次第、「検定試験スケジュール」を作成しますので、各生協店舗でお受け取りください。

	検定名	内容・特徴	試験概要・年間受験者数(社会人含)
(日)	(文部科学省後援) 実用英語技能検定(英検)	国内最大規模の英語検定試験。国家試験、教員採用試験に優遇措置がある。	年3回(6月/10月/1月) 全国 240万人以上
(日)	(外務省後援) 国際連合公用語英語検定試験(国連英検)	外務省の外郭団体である日本国際連合協会が主催する英語検定試験。英語のみならず国際社会の知識も必要とされる。	年2回(5月/11月) 受験者数非公開
(連)	TOEIC テスト (公開テスト)	世界約120カ国で行われているグローバルテスト。リスニングとリーディングで構成されるペーパーテスト。	年9回 約110万人
(連)	TOEIC スピーキングライティングテスト	国際的な職場環境において、効果的に英語でコミュニケーションをするために必要な、話す、書く能力を測定するテスト。	年24回 約1万人
(連)	カレッジTOEIC(TOEIC-IP) TOEFLITP	正規テストである公開TOEIC、TOEFL iBTのそれぞれ学内団体試験。テスト効果は、正規テストと同等です。TOEFL iTPは、正規テストのTOEFL iBTと異なり、ペーパーテストになります。	大学毎に実施時期は異なるが、試験回数が多い 大学外も含めて 約110万人
(客)	TOEFL iBT	大学レベルの英語を使用および理解する能力を測定します。さらに、リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの各スキルを組み合わせて、学術的な課題を遂行する能力も評価します。	申込については、国際教育交換協議会(CIEE)日本代表部のホームページをご覧ください。
(直)	ジーテルブ 国際英検 G-TELP ※一部の大学生協では取り扱いがありません。	英語を母国語としない人たちが、実際の場面でどれだけ英語でコミュニケーションがとれるか、その力を測るテスト。日常生活の場面で英語を自由にあやつる力に重点を置いているペーパーテスト。	年2回(6月/10月) 約6万人
(直)	(文部科学省後援) 工業英語能力検定試験	科学技術情報を対象とする読者に合ったレベルで正確に、分かりやすく伝えるための能力を判定するライティング、リーディングテスト。	年4回(春夏秋冬)ただし、夏冬は、コンビに受付のみ 約1万人
(直)	(文部科学省後援) 実用フランス語技能検定試験	日本人学習者を対象として、文部科学省および在日フランス大使館文化部の後援をうけて実施されるフランス語の唯一のテスト。	年2回(春、秋) 約3万人
(直)	ドイツ語技能検定試験	日本人学習者を対象として、財団法人ドイツ語学文学振興会が実施する、ドイツ語の検定試験。	年2回(春、秋) 約1.3万人
(直)	(文部科学省後援) スペイン語技能検定	文部科学省後援 財団法人スペイン協会西検事務局の主催するスペイン語の技能検定。	年2回(春、秋) 約8千人
(直)	中国語検定試験	一般財団法人日本中国語検定協会が主催する、日本人学習者を対象にした中国語の検定試験。	年3回(3月・6月・11月) 約1.7万人
(連)	(中国政府公認) HSK(漢語水平考試)	中国政府教育部(日本の文部科学省に該当)の認定する中国語の資格試験。中国国内以外に、世界88カ国で実施。中国留学の際の評価基準となる。	筆記年4回(3月・6月・9月・12月) 口試年2回(3月・12月) 約1万人(推計)
(日)	ハングル能力検定試験	日本語を母語とする学習者にとって真に意義のある外国語教育理念に基づいた出題と評価、また、学問的な基礎の上に立って問題を構成しているということを理念に、日本ではじめての韓国・朝鮮語検定として1993年开始された。	年2回(春、秋) 約3万人
(日)	日本漢字能力検定(漢検)	クイズ番組などで取り上げられ知名度も高い。教養学習だけでなく趣味として受験する方も多い。	年3回(6月/10月/2月) 210万人
(日)	日本語検定	平成19年に発足した比較的新しい検定であるが、日本語ブームに乗じて受付数は年々増加傾向にある。	年2回(6月・11月) 約10万人
(日)	BJT ビジネス日本語能力テスト	外国人の方の為に日本におけるビジネス場面で必要とされる日本語コミュニケーション能力を測定するテスト。	年2回(6月・11月) 約6千人

	検定名	内容・特徴	試験概要・年間受験者数(社会人含)
(直)	語彙・読解力検定	朝日新聞社とベネッセが開発した、常識力と、語彙力を図るテスト。「辞書語彙」、「新聞語彙」「読解」の3つの領域から出題。就活時の筆記試験、採用面接対策にも役立つ。	年2回(6月・11月) 約4万人
(直)	(文部科学省後援) 色彩検定®	「感性」だけによるものと見られがちであった「色に関する知識や技能」を理論的、系統的に学ぶことにより、誰もが「理論に裏付けられた色彩の実践的活用能力」を身につけることを目的とする。	年2回(夏、冬) 5万人
(直)	MOS(マイクロソフト オフィス スペシャリスト)	エクセル、ワードなどのマイクロソフト製ソフトの利用スキルを客観的に証明する試験。約200の国で実施されているグローバルな認定資格。社会人必須スキルのため、就活に人気の資格。	年15回 約23万人(推計)
(直)	(文部科学省後援) 秘書検定試験	文部科学省後援試験で、秘書に関連する資格の中では最も人気のあるもの。理論領域(必要とされる資質、職務知識、一般知識)実技領域(マナー・接客技能)を問う。	年3回(2月、6月、11月) 約10万人
(直)	(文部科学省後援) ビジネス文書検定	会社内や取引先との間で交わされる報告書、礼状から電子メールなどのビジネス文書作成時に必要となる知識・技能を認定する試験	年2回(7月、12月) 約1.3万人
(直)	国内海外旅行地理検定 ※一部の大学生協では取り扱いがありません。	国内海外の旅行地理の知識教養レベルを問う試験で、旅行、運輸、観光サービス業会、ツアーコンダクターへの就職を目指す方の学習に最適。	年2回(6月、12月) 約5千人
(直)	世界遺産検定	人類共通の財産・宝物である世界遺産についての知識・理解を深め、学んだ内容を社会へ還元することを目指した検定。観光・旅行業界を目指す方におすすめ。	年4回(3月、7月、9月、12月) 約1.2万人
(日)	歴史能力検定	歴史の検定。社会科検定の中で最もメジャーな検定のひとつ。学校で学ぶ歴史知識を中心に、国内外で起こっているさまざまな事柄の歴史的背景や、歴史物のテレビ・小説などでおなじみの出来事などについても幅広く出題	年2回(7月、12月) 約3万人
(日)	実用数学技能検定(数検)	理系検定では知名度No.1であり、累計受験者数が300万人を突破。単位認定制度を導入する学校の増加に伴い、受付数も増加している。	年3回(4月、7月、11月) 約30万人
(日)	法学検定試験/法学既習者試験	「法学検定試験」は、法学に関する学力を客観的に評価する唯一の試験として、大学での単位認定、企業の入社・配属時等の参考資料として、さまざまな場面で利用されている。また、「法学既習者試験」は、各法科大学院の「既習者コース(2年コース)」を目指す受験者のために実施しているもので、法学既習者であることを証明するための資料として、多くの法科大学院で提出を求められている。	法学検定試験 11月中旬 9千人 法学既習者試験 7月下旬 3千人
(日)	法科大学院 全国統一適性試験	法科大学院の入学判定のため、入学志願者の法科大学院における教育に必要な基礎学力をはかるための共通試験。法科大学院の入学のためには、2回ある適性試験のどちらか1回の受験が必ず課せられる。	5~6月に2回実施 8千人
(日)	(ERE) 経済学検定試験	ビジネス社会において必要とされる経済学の基礎知識とその応用力を養成する検定試験。就活生をはじめ、ビジネスパーソンや企業担当者からも注目を集めている。	年2回(7月、12月) 約4千人
(直)	日商簿記検定 ※一部の大学生協では取り扱いがありません。	簿記は、企業の日々の経営活動を記録・計算・整理して、経営成績と財政状態を明らかにする技能。簿記を理解することによって、企業の会計知識、財務諸表を読む力、基礎的な経営管理や分析力が身につく。公認会計士や税理士等の国家資格を目指すにも必須の資格といえ、多くの企業が業種を問わず、社員に対して簿記検定の資格取得を奨励している。	年3回(2月、6月、11月) 約60万人
(直)	ビジネス会計検定 ※一部の大学生協では取り扱いがありません。	会計の用語、財務諸表の構造・読み方・分析等、財務諸表を理解するための基礎的な力を身につけ、かつ企業の経営戦略や事業戦略を理解するため、財務諸表を分析する力を身につけることがあらゆるビジネスパーソン、就活の学生に必須の検定といえる。	年2回(3月、9月) 約6千人
(直)	メンタルヘルス検定 ※一部の大学生協では取り扱いがありません。	働く人たちの心の不調の未然防止と活力ある職場づくりをめざして、職場内での役割に応じて必要なメンタルヘルスクアに関する知識や対処方法を習得	年2回(3月、11月) 約1.9万人

※お申し込みの前に「受験資格」について確認して下さい。他の資格を取得する必要がある場合や直近下位取得が必要なケースなどがあります。
 ※この一覧は2013年12月現在のデータです。